

「絵は僕の心なのだ」

北島さん
遺作展 迫力ある作品並ぶ

にかほ市

画家としての名誉にと
られず創作活動を続け
たにかほ市(旧金浦町)出
身の画家、故北島忠喜さ
んの遺作展が同市の金

浦勤労青少年ホームで
開かれている。六日まで。
北島さんは武蔵野美術
大で学んだ後、結婚を機
に福井県小浜市に住み、

創作活動。「体は売れる
が心は売れない。僕の絵
は僕の心なのだ」との考
えから作品を売ることが
なく、展覧会にも出品し
なかった。

しかし、ただ黙々と絵
を描き続ける北島さんを
見てきた同市の内藤彰さ
ん(六二)、悦子さん(六三)夫
婦が、その作品を広く知
ってもらおうと自宅を改
装。平成十五年十二月に
「北島忠喜の絵画館」を
開設した。北島さんは翌
月、病気のため六十二歳
で急逝した。

以前から「(北島さん
の)絵を古里の人にも見
てもらいたい」と考えて

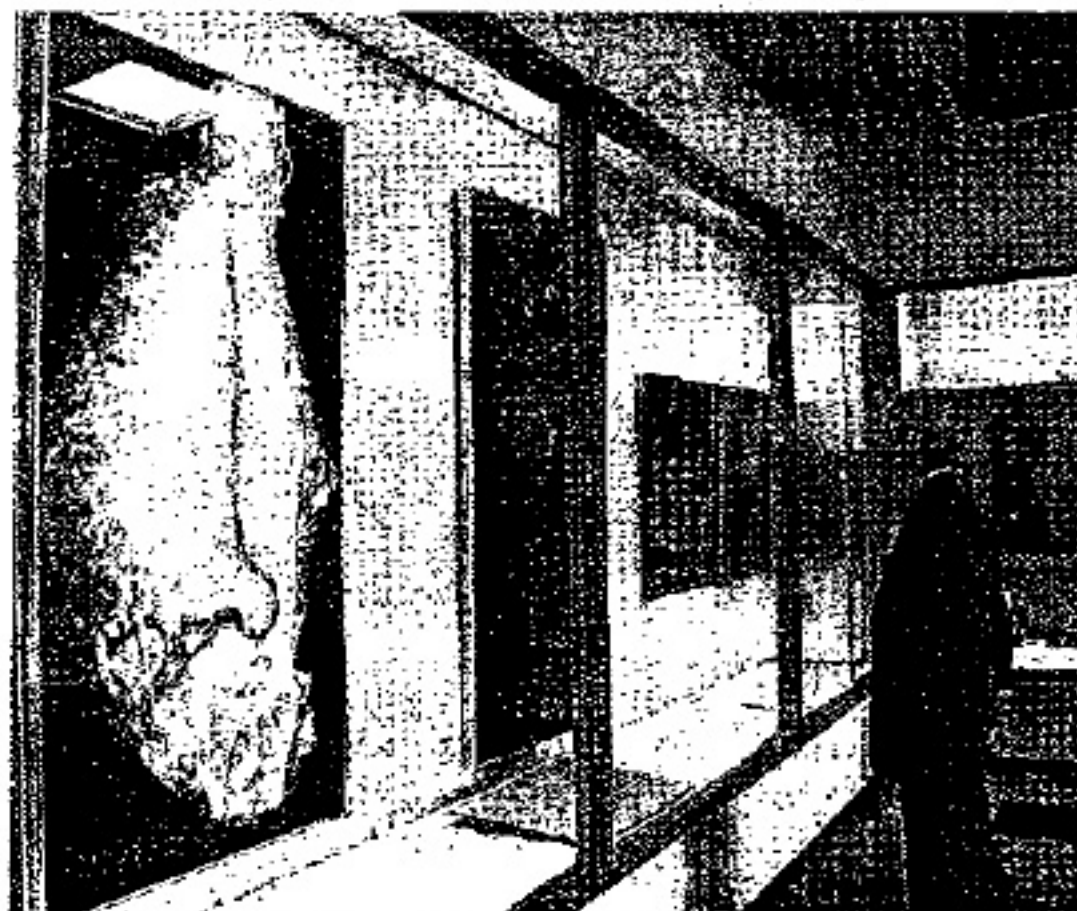
いた内藤さん夫婦はその
後、北島さんの姉・斉藤
喜江さん(七七)にかほ市
金浦川を通じ寄贈を申し
出た。今回展示されてい
る絵画の大半が、同市へ
寄贈されることになって
いる。

遺作展では、漆でカレ
イの表裏両面を描いた大
作「蝶」や迫力あるタッ
チで裸婦を描いた作品な
ど約二十点を展示。自分
の生き方への思いをつづ

ったスケッチブックの裏
表紙、悦子さんに生前語
った言葉もパネル展示さ
れている。

斉藤さんは生前の北
島さんを「鳥海山登山
が好きで、帰郷するたび
に登っていた」と振り返
った。「展覧会を地元
で開くのは初めて。あり
がたいこと」と話してい
る。

開館は午前九時―午後
八時。入場無料。



北島さんの作品が並ぶ遺作展—にかほ市の金浦勤労青少年ホーム